

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

内容

【鑑賞指導】

「本公演を100倍楽しむ！」ために、“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである世界の踊りの曲を演奏し、様々な国の文化や曲の背景を想像しながら聴いてもらい、本公演プログラムのイメージを膨らませてもらう。

また、あらゆるジャンルの「ソドレミ」で始まる曲でメロディのおもしろさや、長調曲の短調演奏でハーモニーの不思議を感じてもらう。

1. 『ドレミの“いろは”』

“ドレミの歌”を使って、「音の構成（知識面）」や半音や調性などの「音の特徴（知識面）」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。

2. 『音楽の三大要素』

これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！

- ①「メロディ」…クラシックのみならず、ポップスや童謡・唱歌まであらゆるジャンルの音楽に共通する「ソドレミの法則」を説明し、「ソドレミ」で始まる曲を演奏する。
- ②「ハーモニー」…長調と短調の特徴や違いを説明し演奏することで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらう。例えば、短調曲のベートーヴェン／交響曲第5番「運命」を長調で演奏する。
- ③「リズム」…指揮体験や打楽器共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。

3. 『世界の踊曲』

本事業のテーマである“世界の踊りの曲”を演奏し、様々な国の文化や曲の背景を想像しながら聴いてもらい、本公演プログラムのイメージを膨らませてもらう。

【実技指導】

「練習用映像」や「校歌合唱練習用 CD」を活用した共演練習により本公演でその成果を十分に発揮し、プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにするための指導をする。

「打楽器共演練習」では、リズムを刻める打楽器を紹介や手作りするなど、楽器に興味を持ってもらうと共に、グループ練習を行うの中でチームワークの重要性を体感し協調性やコミュニケーション能力を身に付けてもらう。

1. 『指揮体験』練習

当楽団オリジナルの「練習用映像」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。「練習用映像」を実施校へ貸与し、本公演までの練習の教材としてもらう。

2. 『打楽器共演』練習

リズムを刻む打楽器を紹介や手作りするなど、本公演での打楽器共演曲を練習する。ワークショップでは選択曲2曲を練習し、その中から本公演での共演曲を学校に選択してもらう。「練習用映像」を実施校へ貸与し、本公演までの練習の教材としてもらう。

タイムスケジュール（標準）

8時30分 学校到着 ～ セッティング ～ ゲネプロ

10時30分 ～ 11時15分 【鑑賞指導】

<休憩15分>

11時30分 ～ 12時15分 【実技指導】

12時15分 ～ 12時30分 本公演までの共演練習の進め方などの打ち合わせ

12時30分 ～ 13時00分 本公演会場確認、楽器搬入出動線、出演者控室確認など

13時00分 学校出発

派遣者数

主指導者 弦楽器奏者

補助者 弦楽器奏者、打楽器奏者、ピアノ奏者、スタッフ（2名）

学校における事前指導

事前指導は必須ではありませんが、ワークショップを効果的かつスムーズに進めるために、可能な範囲でワークショップの趣旨や概要を児童に事前説明をしていただければ幸いです。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

演目

『 踊りの音楽を通して世界の文化に触れよう！ 』

1. オッフェンバック／喜歌劇「天国と地獄」より カンカン
 2. 〔楽器紹介〕 山本和彦編 フォークダンスメドレー
マイムマイム（イスラエル民謡）～オクラホマミキサー（アメリカ民謡）
～ジェンカ（フィンランド民謡）
 3. ハチャトゥリアン／組曲「仮面舞踏会」より ワルツ
 4. 〔指揮体験〕 ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 ♪
※指揮体験の後全曲を演奏
 5. 外山雄三／管弦楽のためのラブソディ
～．～．～．～．～．～．～．～．～． 休憩 ．～．～．～．～．～．～．～．～．～．
 6. 〔打楽器でオーケストラと共演〕 ♪
※ A 又は B から学校が選択
選択 A…エルナンデス（編曲）／エル・クンバンチェロ
選択 B…プラード（編曲）／マンボ no.5
 7. バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション（構成／西田紘子）
- E.C. i オーケストラの演奏で校歌を合唱 ♪
ii ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲 ♪

♪ = 共演参加曲目

公演時間：90分（休憩含む）

派遣者数

- ・ 指揮 : 水戸 博之
- ・ 歌とお話 : 西 けいこ
- ・ 管弦楽 : 九州交響楽団

フルート : 3名、オーボエ : 2名
クラリネット : 2名、ファゴット : 2名
ホルン : 4名、トランペット : 3名
トロンボーン : 3名、チューバ : 1名
ティンパニ : 1名、打楽器 : 4名
ハープ : 1名
第一ヴァイオリン : 12名
第二ヴァイオリン : 10名
ヴィオラ : 8名、チェロ : 8名
コントラバス : 6名

- ・ スタッフ : 9名

合計 : 81名

タイムスケジュール (標準)

- 8時00分 セッティング開始 (楽器運搬トラック・ステージスタッフ到着)
- 9時30分 楽団員到着
- 9時30分 セッティング完了
- 10時00分 進行打ち合わせ
- 11時00分 リハーサル開始
- 12時30分 リハーサル終了
- 14時00分 開演
- 15時30分 終演
- 15時50分 楽団員出発
- 17時00分 楽器搬出完了 (楽器運搬トラック・ステージスタッフ出発)

実施校への協力依頼人員

- ・ 養生シート敷き、パイプ椅子及び長机を倉庫から出しておいてください。
- ・ 大型扇風機などで換気をお願いします。
- ・ 控室をご準備ください。(指揮者、コンサートマスター、司会者、男性、女性)
- ・ 控室にカーテンやブラインドがない場合は新聞紙等で目隠しをお願いします。
- ・ 動線案内掲示 (「控室⇄体育館」、「控室⇄お手洗い」など)をお願いします。

演目解説

本事業のテーマである、「踊り」にまつわる作品をプログラム。世界の国々や民族といった気候風土に根差した「踊り」と「踊り」に不可欠な様々なリズムを特集することで、音楽の多様性に触れるきっかけを創出する。

共演曲は、踊りと音楽が共存するラテン曲を、リズムを刻む打楽器（ワークショップで紹介や手作り）でプロのオーケストラの演奏に参加する。

踊り・歌・音楽で構成される舞台芸術の世界を楽しめるミュージカル。公演後半の「ウエスト・サイド・ストーリー」は、シェイクスピアの「ロメオとジュリエット」を現代のアメリカに置き換えたラブストーリー。物語のあらすじ解説のほか、様々な場面をナレーションや演奏（歌）でわかりやすく再現することで、音楽と物語の関係を深く理解することができる。

1. オフエンバック／喜歌劇「天国と地獄」より カンカン

「フレンチカンカン」と呼ばれるフランスの速いテンポの踊りで華やかにオープニングを迎える

2. 〔楽器紹介〕山本和彦編 フォークダンスメドレー

マイムマイム（イスラエル民謡）～オクラホマミキサー（アメリカ民謡）

～ジェンカ（フィンランド民謡）

世界の民謡を使った当楽団オリジナル編曲の楽器紹介作品

3. ハチャトゥリアン／組曲「仮面舞踏会」より ワルツ

フィギュアスケートで使用され一気に人気になった作品、どこかしら妖艶さも漂いダイナミックな曲想も魅力のワルツ

4. 〔指揮体験〕ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲

軽快なテンポと勇壮な響きが特徴で、数ある歌劇の中でも最も有名な「カルメン」の冒頭に演奏される作品、児童による指揮体験の後に全曲を演奏

5. 外山雄三／管弦楽のためのラブソディ

日本の盆踊りを含む各地の民謡で構成された作品

～．～．～．～．～．～．～．～．～． 休憩 ～．～．～．～．～．～．～．～．～．

6. 打楽器でオーケストラと共演 ※A又はBから学校が選択

選択 A…エルナンデス（編曲）／エル・クンバンチェロ

選択 B…プラード（編曲）／マンゴ no.5

7. バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション（構成／西田紘子）

オペラ同様に音楽・ダンス・演劇といった様々な芸術的要素を併せ持つ総合芸術作品であるミュージカル、当楽団オリジナル脚本で物語のあらすじ解説のほか重要な場面を抜粋しナレーションや演奏（歌）を交え物語の理解を深める

E.C. i オーケストラの演奏で校歌を合唱

ii ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【指揮体験】

ワークショップでは「練習用映像」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。本公演では児童の代表が指揮体験でオーケストラと共演する。本公演当日のオーケストラ合わせリハーサルでは、指揮者から直接指導を受け本番に臨む。

【打楽器で共演】

ワークショップでは「練習用映像」を見ながら基本的なリズムを指導し、本公演までの練習では基本に囚われ過ぎない自由な発想やアドリブ的な演奏で児童の発想力を育て、継続してグループ練習を行うことで団結や、リズムの種類や楽器の違いを感じることで協調性、コミュニケーション能力を身に着けることができる。指揮体験と同様に、本公演当日にオーケストラと合わせリハーサルを行い本番に臨む。

児童生徒とのふれあい

児童生徒との共演（指揮体験や打楽器、校歌合唱）で気持ちのふれあいを大切にし、オーケストラを身近に感じ、音楽への興味を持つきっかけとする。